

2014年

携帯サイトへGo!→
携帯で教室便りが見られます



教室だより 2月号

積極的に学ぶ人間に

2月19日頃は二十四節気の一つ「雨水（うすい）」で、空から降るものが雪から雨に変わる、春に近づく時期です。雪から雨に変わるのはほんの小さな変化に見えても、季節が移るという大きな変化につながるものです。

公文式は、自分で自習して先へ進むという積極的な学習法です。ミスをして、すぐ教わるのではなく、まず自分で考えて訂正する、という練習を積み重ねていきます。ですから、公文式で学習した子どもたちは、「自分で勉強する」という態度と習慣が身につきます。教えられて覚えるだけの「受け身」の勉強法では、考える力や自主性は育ちません。「この子、最近見違えるようだわ」という経験がないのでしょうか。勉強している外見は同じでも、「受け身」の勉強から「積極的」な学習に変化した瞬間かもしれませんね。

公文式の学習がさらに進んでいくと、より高いところをめざして進む充実感と有利さを知るようになります。さらに「積極的」に自分の力で学び新しい知識を得ることに取り組める人に成長するよう、指導してまいります。

公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

“可能性の追求”こそ親から子への最良の贈り物”

最近幼児のもつ能力の高さが少しずつ知られるようになり、知能教育に関する見方も変わってきているようですが、「早い時期に数教育をしても効果は少ない」、「幼児のうちは遊ばせることが大切で、勉強などさせると害がある」など、従来からの根強い考え方もまだあるのではないのでしょうか。

公文式では「優秀な子どもに育てるためには、幼児期からの知能教育が大切である」ということを認識し、「その子にちょうどの学習をさせる」ことによって「幼児をどこまで伸ばせるか」という可能性の追求を行ってきました。

「人間の可能性の追求」に努めている公文式では、指導が適切でさえあれば、幼児であっても方程式や、あるいはそれ以上の内容にまで、無理なく学習していけるということをたくさんの事例から明らかにしてきました。

公文の理念は「子どもの可能性を発見し、その能力を最大限に伸ばす」ということです。子どもに与えられた可能性を最大限に伸ばすことこそ、親ができる「子どもへの最良の贈り物」ではないのでしょうか。

2014年 2月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11 電光石火の日	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

本市場教室日□
横割教室日△

電光石火

今月のことわざ

動きや行動がとてはやいこと。とても短い時間のこと。

◆もとの意味は「いなすまや火打ち石の火花のようないっしゅんの光」のこと。

「相手チームのすきをつき、電光石火のはやわさでシュートをきめた。」

「だれも解けなかったむずかしい問題を、お姉ちゃんは電光石火であつというまに解いてみせたそつだ。」

くもん出版刊「四字熟語カード」より

*ゆき子の一言コラム

国語力、大丈夫ですか？

全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）小学校国語Aについて、静岡県が平均正答率全国最下位の結果だったと新聞等で大きく報道されました。静岡県の川勝知事が学力テストの悪かった100校の校長名を公表すると発表したのに対して、県教育委員会は猛反対したため、結局は逆の良かった校長名を発表したことはまだ記憶に新しいと思います。でも、この上位校に富士市は27校すべてありません、ということは0%です。参考にお隣の富士宮市は、22校のうち3校がリストにありました。沼津市24校のうち4校16%、三島市14校のうち4校28%。国語力をつけるノウハウが公文式国語教材にはあります。

国語力はすべての学習の基礎！

国語力はすべての学習の基礎の基礎です。さまざまな生活の場面で必要とされ、なにより学習の基本動作ともいえる、速く・正確に「読む・書く・聞く」という部分に大きな影響を与えているのです。

算数でも

文書が苦手という人の多くは、「文章が正確に読み取れていなかったり」「読むこと自体に苦手意識がある」ようです。学年が上がるにつれ、算数の教科書の説明文もだんだん難しくなってきます。教科書で書かれている文章が理解できず、いつのまにか「得意だったはずの算数がにがてになっている・・・」ということにつながってはいないのでしょうか？

理科・社会でも

実は理科・社会の文章は同じ学年の国語の文章より読みにくいのです。

それは理科・社会の文章が、国語よりも以下の点が挙げられます。

- ①一文が長い（文字数が多い）
- ②漢字の割合が高い
- ③むずかしい熟語の割合が多い

熟語は「固形」「液体」「成分」「毛細血管」「不可欠」「供給」「需要」「管領」等あげればきりがありません。文章の難易度を左右するのは上記3つ以外にも多くの要因がありますが、上記の理由から理科・社会でもしっかりした読解力が必要だと判断できるのではないのでしょうか。『国語はすべての教科の基礎』将来を担う子供たちには、しっかりとした国語力をつけ、読書によって豊かな感性を養ってもらいたいものです。

その他連絡 2月無料体験学習のご案内

保護者の皆様へ

いつもお子さまの公文式学習をあたたく見守っていただき、ありがとうございます。

さて、公文式教室では、下記の通り「2月無料体験学習」を実施いたします。

公文式学習で「自分から学習する」ことは、お子さまの可能性を大きく広げることとなるでしょう。この機会に、日頃学習していない他の教科にチャレンジしていただきたいと思います。

まだ入会いただいていないご兄弟・姉妹の方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加をお待ちしております。また、お知り合いの方へ公文式学習をご紹介いただければ幸いに存じます。ともに学習する存在は子どもたちにとって大きな励みとなります。

★ 2月無料体験学習のご案内 ★

学習期間：2月15日（土）～28日（金）

期間中、2週間で計4回、公文式学習を体験していただけます。

費用は無料ですので、お気軽にご参加ください。

YouTube「くもんいくもん」チャンネルで
く蒙の楽しい動画を見ていただけます。
(YouTube内で「くもんチャンネル」と検索してご覧ください。)

***会費改定のご案内（別紙）がありますので、精読よろしくお願ひいたします。**

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

2月分の会計引き落としは1月28日（月）です。よろしくお願ひいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。

